

特集
言葉から世界を学ぶ——朝鮮語、ロシア語、スペイン語の魅力

韓国・朝鮮語との 幸せな出会いのために

崔 鶴山



韓国語（南）と朝鮮語（北）は書き言葉及び話し言葉において、お互い通じ合う同じ言語です。ここでは、「朝鮮語」を合わせた意味で「韓国語」と書きます。

ことばの向こうにあるもの

アジア、その中でも中国、韓国、日本には共通の文字、漢字がありますが、その書き方や読み方はそれぞれ異なります。漢字からなることばの意味も時代によって、またお互い影響しあうことによって、少しずつ変わってきています。例えば、日本では「韓流」ということばの日本語読みは、カンリュウのほか発信地である韓国の発音に倣い、

ハンリュウも一般的です。一方、九〇年代までは、日本人の名前は漢字表記で日本語読みをするのが一般的でした（朴正熙↓ボク・セイキ、金大中↓キン・ダイチュウなど）。それがいまは、テレビなどのメディアでは、韓流スターの名前などを中心に韓国語読みをそのままカタカナ表記にすることが多くなりました。韓国人の姓はすべて漢字から来ており、ほとんどの名前はハンゲル表記のほかに漢字表記も可能なのですが、日常生活で自分の名前を漢字で書く機会はほとんどなくなりました。日本でのカタカナ表記はこのような韓国の現状を反映し、文字よりも「音」を優先していることによるものだと思います。一方、中国の人名や地名などに漢字表記の日本語読みが多いのは、漢

ちえ はくさん ソウル生まれ。日本文部省招聘国費留学生として来日、慶応義塾大学社会学研究科社会学専攻修士、博士課程修了。1993年～現在 慶応義塾大学文学部非常勤講師、1992年～現在 NHK 国際放送ラジオ日本 韓国語契約アナウンサー・翻訳者。